



# 十小だより

令和5年4月6日  
第1号  
府中市立府中第十小学校

令和5年度 新しい体制でスタートします

校長 草刈 あずさ

出会いの春、スタートの春にふさわしく、学校や公園などに色とりどりの花が咲き、新緑が芽吹く、気持ちのよい季節となりました。

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。新2年生から新6年生の皆さん、進級おめでとうございます。新学年の始まりの4月は、期待で心が躍り、緊張感と意欲で背筋がピンと伸びる心持ちだと思います。その気持ちをいつまでも持ち続け、いい1年間にしてほしいと思います。

私は、4月から本校の校長として着任しました 草刈あずさ と申します。令和2年4月から令和5年3月までの3年間、あきる野市教育委員会に勤務し、コロナ禍でも、子どもたちをいかに豊かに育てるか、思い出となるような楽しい行事を充実させられるのかということに頭を悩ませる日々を過ごしてきました。この春からはようやくマスクをはずせるようになり、コロナ前ともコロナ禍とも異なる新たな学校生活が始まります。子どもたちが、心身ともに健康で、意欲的に学習に取り組み、日々を楽しく過ごせる学校をつくってまいります。私をはじめとする新たに着任した教職員は、一日も早く、子どもたちの顔を覚えて、府中第十小学校で培われてきた学校風土に慣れていきたいと思っています。

さて、私ごとですが、学区内にある多磨霊園に祖父母のお墓がありますので、西武多摩川線の多磨駅には今から40～50年前にも来ていました。お彼岸に来ることが多かったため、街が非常に賑やかな印象で、魚の形をしたおせんべいを露店で買ってもらうことが楽しみだったという思い出があります。3月に、久しぶりに多磨駅に降り立つと、大きな駅舎に整備されていて驚きましたが、街は変わらず温かい雰囲気、うれしく感じています。私が好きな歴史上の人物の一人でもあり、多磨霊園に眠る東郷平八郎さんの「至誠にもとるなかりしか（誠実であったか）」「言行に恥ずるなかりしか（恥じるような言動はなかったか）」「氣力に欠くるなかりしか（氣力は十分であったか）」「努力に憾みなかりしか（努力が足りないことはなかったか）」「無精に亘るなかりしか（怠けることはなかったか）」の五省を胸に、子どもたちのために力を尽くしたいと思います。

校長は代わりましたが、これまでの府中市立府中第十小学校のよさを引き継ぎながら、府中第十小学校はこれからも地域とともにある学校として、保護者や地域の方にご理解とご協力をいただきながら、子どもたちを育ててまいります。どうぞよろしく願いいたします。